

観光予算は103億円

復興枠は3.3億円に

昨年12月24日に2012年度政府予算案が閣議決定され、12年度大震災からの復旧・復興枠3億3400万円を除くと、前年比101億4800万円)比2%増の103億3800万円となった。30日にまとめた概算要求では、11年度予算の8%増となる109億不足に悩む現状を受け、かろうじて前年並みを維持する厳しい

【伊集院 悟】

下国・台湾・米1ターなどを活用し、タ対し、KPIを計上。それと運動し、訪日外国人旅行者の受入環境整備事業は前年度比41%増の8億5400万円となった。また、観光庁の溝畑宏長官が12月の会見で体制強化をうたっていた日本政府観光局(JNTO)の運営費交付金は、18億8400万円と、前年度比4%の削減となった。

震災で大きく落ち込んだ東北6県と北関東3県(茨城・栃木・群馬)の訪日需要を回復するため、風評被害の払拭や観光振興のPRなどを行う東北・北関東インバウンド再生緊急対策事業にはオビニオンリ

改革の推進	80	82	0.97
	30	82	0.36
	50	0	0
	887	475	1.87
	281	264	1.06
	10,004	10,148	0.99

●:復興庁に計上

情報提供のあ	30	0	0
業(被災地分)	54	0	0
	250	0	0
	334	0	0
	10,338	10,148	1.02

観光地づくりにフラットフォームなど地域活性化へ取り組む「観光を核とした地域の再生・活性化」枠では前年度比27%減の3億4300万円。11年度予算で計上を見送ったユニバーナレソ

「日本再生重点化で概算要求していた内旅行活性化のため環境整備事業」は「コライバランスの増資する休暇改革の枠内」で5千万円計の整備・運営に係る「I事業手法調査」は外国人3000万人

グラム第1期事業内のMIC誘致・開催の推進で展開する効果測定に組み込まれた。一方、「日中国交正常化40周年記念少年招請事業」は外務省主導で行うことになり観光関連では未計上。1万人の外国人を日本に招き世界へ発信してもらう「Fly to Japan」事業は、国の予算を個人の消費支出として

2012年(平成24年)1月21日(土曜日)

旬刊旅行新聞



昨年6月、海外の温泉めぐりで100湯を達成した。91年から年に1、2度海外へ赴き、足跡を残してきた。節目の湯は、ドイツ・ミュンヘンからバーテンバーデンへと向かう途中、ペープリンゲンという町の「ミネラルテルメ」。



海外温泉巡り100湯を達成
やまもと まさたか
山本 正隆 さん

「家内が用意してくれた「祝海外100湯達成」の横旗を手に記念写真を撮りました」と笑う。

湯巡りのきっかけは勤めていたころにさかのぼる。会社で目標管理に取組んだとき、個人的に温泉巡りを目標にした。まずは「47都道府県の制覇」。それまで訪れたことのない県は11ほどあった。以後、出張の宿泊は温泉宿と決め、3年かけて達成した。次に目指したのが、海外の

温泉だった。旅行先での移動は自由気ままなレンタカーが一番。「美人と一緒だとホテルを予約する」が、気心知れた仲間の時は飛び込みも珍しくない。英語が通じなくても、「身振り手振り」でなんとかなる「頼もしい」。今は「国際温泉評論家」を自称している。定年後の同窓会。名刺がないのでそう自己紹介したら「えらいウケた」からだとか。

温泉を語るときの視点はもっぱら「美」と「快」だ。泉質や効能へのこだわりはない。温泉には美人が似合う。写真でその良さを伝えられないので、温泉を紹介するときは自作のイラストを使う。

工学博士。39年間、沖電気工業および関連会社勤務。著書に「世界温泉紀行66湯」(くまざさ出版社)がある。

5大国中心にC/P

東北観光博で活性化を

前田国交相

国土交通省の前田武志大臣は12月27日、2012年新春共同インタビューを行い、観光分野について、震災で落ち込んだ方全体を観光の博覧会場に見立てる東北観光博(仮)など、東北地方への旅行需要回復と新たな観光地づくりのモデル構築をはかる「広域連携観光復興対策事業」は2億5千万円を盛り込んだ。



土交通大臣

域を中心にキャンペーンを張り活性化させていく意向を語り、「観光は成長戦略の1つの柱」と強調した。国内旅行については、「トータルでは前年を上回るくらいまで回復してきた」と所感を述べる一方、インバウンドについては「順調に回復しているが、前年並みまでにはなっていない」と話した。また、日本国内での旅行のあり方について「成熟した今の社会では、かつてのような団体旅行ではなく、個人がそれぞれ